

# 広がる未来へ

5

【たはらエコ・ガーデンシティ構想】

エコ・エネルギー導入プロジェクト

私たちが利用してきた「石油」「石炭」といった化石燃料は

限りがあります。また日本では、そのほとんどを輸入に頼っています。それに比べ、自然から得られるエネルギーは限りがなく、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を出さない、クリーンで地球にやさしいエネルギーです。田原市では、豊富な日射量「強い風」「豊かな農業系資源」などの恵まれた地域条件を生かし、エコ



エネルギーの導入・普及促進に積極的に取り組んでいます。

1 公共施設のクリーンエネルギー化  
公共施設の蔵王山展望台の風力発電施設をはじめ、市内の学校や市民館へ太陽光発電システムなどの導入を積極的に行っています。現在、市内の風力発電施設は22基、約2万5000kW<sup>キロワット</sup>。これは一般家庭約1万5000世帯分の電力を賄うことができます。太陽光発電システムは公共施設に26か所(約200kW)を導入をしています。また、ハイブリッド車5台、電気自動車1台の低公害車を使用しています。

2 住民・事業者導入支援

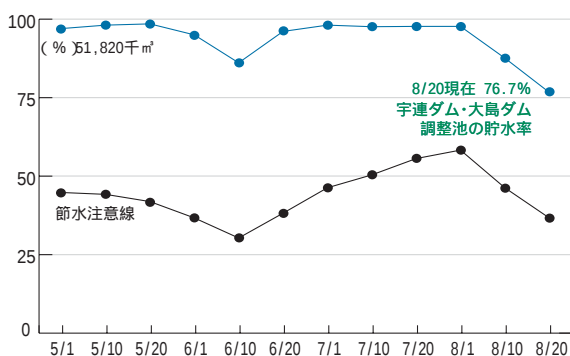
市民や事業者の太陽光発電システムや太陽熱利用設備、低公害車などを導入する際に補助を行っています。詳しくは広報たはら6月号「田原市ホームページ」をご覧ください。か、直接お問い合わせください。

▼エコエネ推進室

23局7401 FAX 23局0669

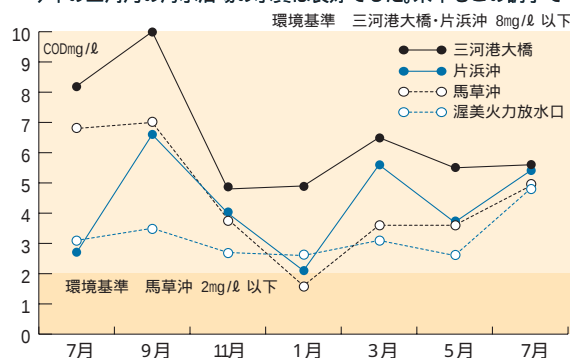
## ■宇連ダム・大島ダム・調整池の貯水率

災害に備えてご家庭でも水を蓄えましょう。



## ■三河湾の水質調査結果

今年の三河湾の海水浴場の水質は良好でした。来年もこの調子で！



## 菜の花だより

▶エコエネ推進室 23局7401

6月に収穫した菜種から搾った菜種油が届きました。菜種油は、揚げ物をはじめ、さまざまな料理に利用でき、オレイン酸やビタミンEを豊富に含む体にやさしい油です。「使い終わった油は？」という点、軽油代替燃料(BDF)生成装置にかけ、BDFとして使用しています。BDFを使った車はディーゼル車と比べても走行性はほとんど変わりません。さらに、酸性雨の原因となる成分をほとんど出さない環境にやさしい燃料です。現在、給食センターや飲食店などの廃食用油をBDF化し、公用車2台とスクールバス1台を走らせています。



●BDF車マーク

9月10日(日)~20日(水)の間、NPOの方々によって景観用菜の花の種まきが行われます。皆さんもぜひ参加してください。

BDF=バイオ・ディーゼル・フューエル(Bio Diesel Fuel)の略